

情報公開文書

研究課題名	精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究
研究体制	<input type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input checked="" type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>精神疾患病態研究部</u> 氏名 <u>橋本 亮太</u> 当 院 所属 <u>精神科部</u> 氏名 <u>美谷島 真理子</u>
研究期間	承認後 ～ 2023年3月
研究の概要	<p>(研究の意義・目的)</p> <p>医療が目覚しく進歩した現代社会においても、こころの病は患者さんの苦しみはもちろんのこと、社会に及ぼす影響も大きいことが知られています。病気等の寿命短縮年数と生活障害をおよぼす健康寿命の合計した健康被害の指標(障害調整生命年 <b>disability adjusted life years DALY</b>)によると、日本の <b>DALY</b> では精神疾患は19%と第一位であり、がん(18%)、心血管障害(16%)と続き、自殺も4%を占めています。精神疾患の診断や治療に関する研究が進められ、そのエビデンスに基づく診療ガイドラインも作成されていますが、それが実地臨床に反映され、役立っているかどうかについてはまだ十分にわかっていません。そこで本研究においては、精神科における診療ガイドラインの講習を行い、その医療機関における治療に影響を与えるかどうかについての検討を行い、精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果を検証し、より適切な治療が広く行われることを目的としております。</p> <p>データを提供する場合には、匿名化した情報を、パスワードをかけた電子ファイルを用いて電子的配信等の方法で提供します。なお、対応表は研究責任者が保管・管理します。</p>
試料・情報	<p>(試料・情報の項目)</p> <p>試料：利用しません</p> <p>情報等：診療録(一般診療で行う範囲内の情報であり、年齢、性別、診断などの基本情報、処方データ、治療方法、症状データ等)</p> <p>※氏名や電話番号は含まれません</p>
研究対象者	<p>2019年4月1日より2023年3月31日までの間に当院で精神疾患の治療を受けた方</p> <p>※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。</p>

個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で使用いたします。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>精神科部</u> 氏名 <u>美谷島 真理子</u>  TEL : 026-226-4131（代表） FAX : 026-228-8439